

Doc.No : NR040209-2

2004年2月9日

大サイズプレートに対応したサーマルCTP「PlateRite Ultima 16000」を開発 ～世界最高速の16ページ対応CTP

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野富次)は、サーマルCTP(=Computer to Plate)装置「PlateRite(プレートライト)」シリーズに、新たに大サイズ対応の新製品「PlateRite Ultima(プレートライト・アルティマ) 16000」をラインアップ。2004年9月リリースに向け開発を進めています。

この装置は、印刷用デジタルデータをレーザーで刷版(プレート)に直接出力するサーマルプレートレコーダーの新機種で、A4サイズを16ページ配置した大サイズプレートに対応し、最小650×550mm(ミリメートル)、最大1,470×1,165mmの出力が可能。次世代の光源技術、*GLV(Grating Light Valve)を採用した512チャンネル露光ビームの搭載により、1,448×1,143 mmのプレートでは世界最高速の1時間あたり23版の出力を実現します。

また、最大400枚のプレートを全自動供給できるオートローダー(オプション)や印刷機の立ち上げ時間を大幅に短縮できる内蔵パンチ機構(オプション)を用意し、自動化によるさらなる生産性、操作性の向上を可能にします。

当社では、A4サイズで2ページ対応機から32ページ対応機まで様々な版サイズに対応した機種をラインアップすると共に、幅広い種類の感材に対応した機種を充実させることで、ユーザーの選択肢を広げ、さらなるシェア拡大を狙います。

なお、本装置は2004年5月、ドイツ・デュッセルドルフで開催される国際印刷総合機材展「DRUPA2004」に出品し実演展示します。

* GLV(Grating Light Valve)

MEMS(微小電子機械システム)と呼ばれるセンサーや通信、バイオ分野で使用されている半導体技術と光の干渉性を利用した光学原理に基づく技術。半導体素子の基板上に光を反射するリボンを並行に配列した構造で、露光ビームの多チャンネル化が図れる。

※Grating Light ValveおよびGLVは、Silicon Light Machines(本社：米国)の商標です。

<国内希望販売価格>

未定

<販売開始予定時期>

2004年9月

<年間目標販売台数>

初年度60台



PlateRite Ultima 16000

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目